

MITSUBISHI  
三菱電機  
Changes for the Better

# 宇宙新聞

宇宙時代の地球人を育てる

**YAC**  
日本宇宙少年団

H-II  
「ひまわり8号」打ち上げ取材  
2014年10月6日〜7日・種子島宇宙センター  
記者・西島 百合子

スケジュール

18:00 羽田空港出発

20:00 鹿児島空港着

21:15 ホテル着

7:30 種子島着

14:16 ひまわり8号打ち上げ



次の日

18:30 鹿児島空港着  
20:35 鹿児島空港発  
22:15 羽田空港着



ひまわり8号について

ひまわり8号は、前のひまわりと比べて画像がカラーで見れるようになり、黄砂なども細かく見れるようになりました。ひまわりがなかった頃は、台風などの発見ができなかったため、伊勢湾台風で東海地方を中心に大きな被害がありました。そこで、1964年「富士山レーダー」を設けました。できる限り遠くまで観測するために、日本で一番高い富士山頂にレーダーを作りました。ひまわり8号は、10月7日に打ち上げられました。

打ち上げを見にきた人たちは

打ち上げを見にきた人は、「成功するいいです」と言っていました。

他にも鹿児島市内からもロケットが見えるため、そこがきょうみもち、打ち上げを見にきたという人もたくさんいました。



ひまわり8号打ち上げのとき...

打ち上げ当日、会場は、入場者  
 とともにぎゅっ、ていきました。  
 私が会場に行ったとき、ロケットが  
 いさく目えました。それは、3分  
 はなれた種子島宇宙センターで、  
 ひまわり8号をのせたH1FAロケット  
 でした。天気は晴れて、青空が  
 見えました。そして、打ち上げの  
 時、H1FAを打ち上げると、オレンジ色の  
 まぶしき光がけむりと一緒に上がって  
 きました。あまりにも暗かったのが、  
 固体プロペラントスターの分りまで  
 は、きりと見ることができました。  
 本物は、テレビや画像で見るとより  
 何倍も感動しました。この日から、  
 ひまわり8号にかんぱ、てほしい  
 と思いました。



これは、3分プロペラントに  
 関することをしているト  
 にインタビュアーをしてい  
 るところです。インタビュ  
 ーに答えてくれた市川は、  
 やさしく答えてくれ  
 ました。打ち上げの時は、  
 ひまわり8号を  
 最後まで見送っていました。

これは、ひまわり8号が  
 打ち上がった後のけむりです。  
 上の市川がワルワルしていら  
 してもきれいでした。  
 この後は、ウレシかつ  
 うすく空で消えて  
 いきます。

